



安全データシート

Page 1 of 20

LOCTITE 601 RETAINER known as 601 Retaining Compd
50ML E/C/J

SDS No. : 173085
V001.14

改訂: 15. 04. 2025

発行日: 18. 04. 2025

ヘンケルジャパン株式会社

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 378317
製品名 : LOCTITE 601 RETAINER known as 601 Retaining Compd 50ML E/C/J
推奨される用途 : ねじロック剤
会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
皮膚刺激	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A	
皮膚感作性	区分 1	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

ヘンケルジャパン株式会社

危険有害性情報:

H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H402 水生生物に有害。

安全対策

P261 ミスト/蒸気の吸入を避ける。
P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

応急措置:

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333+P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管: P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄: P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物:

混合物

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
---------------	-----	-------

ヘンケルジャパン株式会社

トリエチレングリコールジメタクリレート 109-16-0	>= 50 - < 60 %	皮膚感作性 1B H317 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル 868-77-9	>= 10 - < 20 %	皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 2A H319 皮膚感作性 1 H317
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド) 80-15-9	>= 1 - < 2.5 %	引火性液体 4 H227 有機過酸化物 E H242 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 2; 吸入 H330 急性毒性 4; 経皮 H312 皮膚腐食性 1B H314 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期（急性） 2 H401 水生環境有害性 長期（慢性） 2 H411
N, N-ジエチル-p-トルイジン 613-48-9	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 3; 経口 H301 急性毒性 3; 吸入 H331 急性毒性 3; 経皮 H311 皮膚刺激 2 H315 特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402 水生環境有害性 長期（慢性） 3 H412
メタクリル酸メチル 80-62-6	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 2 H225 皮膚刺激 2 H315 皮膚感作性 1B H317 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
N, N-ジメチル-o-トルイジン 609-72-3	>= 0.25 - < 1 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 3; 経口 H301 急性毒性 3; 吸入 H331 急性毒性 3; 経皮 H311

ヘンケルジャパン株式会社

		特定標的臓器毒性 - 反復暴露 2 H373 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402 水生環境有害性 長期（慢性） 3 H412
メタクリル酸 79-41-4	>= 0.1 - < 0.25 %	引火性液体 4 H227 急性毒性 4; 経口 H302 急性毒性 4; 吸入 H332 急性毒性 3; 経皮 H311 皮膚腐食性 1A H314 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 1 H318 特定標的臓器毒性 - 単回暴露 3 H335 水生環境有害性 短期（急性） 3 H402
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチル メタクリレート 2351-43-1	>= 0.1 - < 1 %	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 2B H320 皮膚感作性 1 H317

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 流水とせっけんでよく洗い流すこと。
医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合：** 多量の水で洗うこと、できるならばぬるま湯で最低でも15分間、まぶたをおさえて眼を開けた状態で洗うこと。
医師の診察を受けること
- 飲み込んだ場合：** 無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること
被災者を安静にしておくこと。
- 吸入した場合：** 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法：** 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。
- 適切な消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末
- 火災時の特有の危険有害性：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

ヘンケルジャパン株式会社

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置:	保護具を着用すること。 十分な換気を保つこと。 皮膚および眼への接触を避けること。
環境に対する注意事項	製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
封じ込め及び浄化の方法及び機 材:	廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。 不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一 般的なバインダー、おがくず）。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱い注意事項	眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。 使用後はよく洗うこと。 適切な換気装置下で使用する。
保管: 安全な保管条件:	技術資料を参照すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:	しっかりした換気／排気を確保すること。
保護具:	
呼吸用保護具:	換気の良い場所でのみ使用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋
眼の保護具:	保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	液体	色:	緑色
pH:	該当なし、混合物は非極性/ 非プロトン性です。	臭い:	マイルド、アクリル
		融点:	該当なし、製品は液体

ヘンケルジャパン株式会社

沸点 :	> 150 ° C (> 302 ° F)	密度 :	1.098 g/cm ³
蒸気密度 :	> 1	蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	> 100 ° C (> 212 ° F)		
爆発範囲 (下限) :	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限) :	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度 :	115 - 135 mPa. s > 20.5 mm ² /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性: 強酸化剤
還元剤

避けるべき条件 通常の使用、保管条件では安定。

危険有害な分解生成物 : 刺激性の有機蒸気。
炭素酸化物

危険な重合反応 : 起こらない。

11. 有害性情報

ヘンケルジャパン株式会社

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	LD50	10,837 mg/kg	ラット	指定されていません
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	LD 50	11.2 g/kg	ラット	
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	LD 50	5,050 mg/kg	ラット	
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	LD50	5,564 mg/kg	ラット	FDA Guideline
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD Lo	5,000 mg/kg	マウス	
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LD50	382 mg/kg	ラット	other guideline:
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	100 mg/kg		専門家の判断
メタクリル酸メチル	LD 50	7,800 mg/kg	ラット	
メタクリル酸メチル	LD 50	6,000 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸メチル	LD 50	9,400 mg/kg	ラット	
メタクリル酸メチル	LD50	9,400 mg/kg	ラット	指定されていません
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	100 mg/kg		専門家の判断
メタクリル酸	LD 50	1,332 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,600 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,250 mg/kg	マウス	
メタクリル酸	LD 50	1,200 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1,060 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD 50	2,224 mg/kg	ラット	
メタクリル酸	LD50	1,320 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチルメタクリレート	LD50	5,564 mg/kg	ラット	FDA Guideline

LOCTITE 601 RETAINER known as 601 Retaining
Compd 50ML E/C/J

ヘンケルジャパン株式会社

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	LD50	> 5,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	Acute toxicity estimate (ATE)	1,100 mg/kg		専門家の判断
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	300 mg/kg		専門家の判断
メタクリル酸メチル	LD50	> 5,000 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	300 mg/kg		専門家の判断
メタクリル酸	LD 50	500 mg/kg	ウサギ	
メタクリル酸	LD 50	1 g/kg	モルモット	
メタクリル酸	LD50	500 - 1,000 mg/kg	ウサギ	皮膚毒性スクリーニング
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	500 mg/kg		専門家の判断
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチルメタクリレート	LD50	> 5,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません

LOCTITE 601 RETAINER known as 601 Retaining
Compd 50ML E/C/J

ヘンケルジャパン株式会社

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	28.17 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.370 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	LC50	1.245 mg/l	蒸気	4 h	ラット	評価計算
N,N-ジエチル-p-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	3 mg/l	蒸気			専門家の判断
メタクリル酸メチル	LC50	29.8 mg/l	蒸気	4 h	ラット	指定されていません
N,N-ジメチル-o-トルイジン	Acute toxicity estimate (ATE)	0.5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h		専門家の判断
メタクリル酸	LC50	3.19 - 6.5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
メタクリル酸	Acute toxicity estimate (ATE)	3.19 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	Draize test
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	slightly irritating	24 h	ウサギ	Draize test
キュメンヒドロパーオキシド（1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド）	corrosive		ウサギ	Draize test
N,N-ジエチル-p-トルイジン	刺激性	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
メタクリル酸	corrosive	3 min	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチルメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	Draize test

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	Category 2B (mildly irritating to eyes)		ウサギ	Draize test
メタクリル酸	corrosive		ウサギ	Draize test
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチルメタクリレート	刺激性		ウサギ	Draize test

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	not sensitising	Buehler test	モルモット	Buehler test
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	Magnusson and Kligman Method
メタクリル酸メチル	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
メタクリル酸	not sensitising	Buehler test	モルモット	equivalent or similar to OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)

ヘンケルジャパン株式会社

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	有無		OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	陽性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	without		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
メタクリル酸メチル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		指定されていません
メタクリル酸	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	not carcinogenic	吸入	2 y 6 h/d, 5 d/w	ラット	female	equivalent or similar OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	not carcinogenic	吸入	2 y 6 h/d, 5 d/w	ラット	male	equivalent or similar OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)
メタクリル酸	not carcinogenic	吸入	2 y	マウス	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOAEL P 1,000 mg/kg NOAEL F1 1,000 mg/kg		oral: gavage	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	NOAEL P >= 1,000 mg/kg NOAEL F1 >= 1,000 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study)
メタクリル酸	NOAEL P 50 mg/kg NOAEL F1 400 mg/kg NOAEL F2 400 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	評価	ばく露経路	標的臓器	備考
メタクリル酸	呼吸器への刺激のおそれ。			

ヘンケルジャパン株式会社

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理 頻度	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOAEL 1,000 mg/kg	oral : gavage	daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	NOAEL 100 mg/kg	oral : gavage	49 d daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	NOAEL 0.352 mg/l	inhalation	90 d 6 h/d, 5 d/w	ラット	OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)
キュメンヒドロパーオキシaid (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)		inhalation : aerosol	6 h/d 5 d/w	ラット	指定されていません
メタクリル酸メチル	LOAEL 2000 ppm	inhalation	14 weeks 6 hrs/day, 5 days/wk	マウス	Dose Range Finding Study
メタクリル酸メチル	NOAEL 1000 ppm	inhalation	14 weeks 6 hrs/day, 5 days/wk	マウス	Dose Range Finding Study
メタクリル酸		inhalation	90 d 6 h/d, 5 d/w	ラット	OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管/地表水/地下水に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	LC50	16.4 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	LC50	> 100 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	LC50	3.9 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
N,N-ジエチル-p-トルイジン	LC50	78.62 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
メタクリル酸メチル	LC50	350 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
N,N-ジメチル-o-トルイジン	LC50	46 mg/l	96 h	Pimephales promelas	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
メタクリル酸	LC50	85 mg/l	96 h	Salmo gairdneri (new name: Oncorhynchus mykiss)	EPA OTS 797.1400 (Fish Acute Toxicity Test)
メタクリル酸	NOEC	10 mg/l	35 d	Danio rerio	OECD Guideline 210 (fish early life stage toxicity test)

毒性（ミジンコ）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	EC50	380 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	18.84 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
N,N-ジエチル-p-トルイジン	EC50	10.34 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
メタクリル酸メチル	EC50	69 mg/l	48 h	Daphnia magna	EPA OTS 797.1300 (Aquatic Invertebrate Acute Toxicity Test, Freshwater Daphnids)
メタクリル酸	EC50	> 130 mg/l	48 h	Daphnia magna	EPA OTS 797.1300 (Aquatic Invertebrate Acute Toxicity Test, Freshwater Daphnids)

ヘンケルジャパン株式会社

水生無脊椎動物に対する慢性毒性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジ メタクリレート	NOEC	32 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシ エチル	NOEC	24.1 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
メタクリル酸メチル	NOEC	37 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
メタクリル酸	NOEC	53 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	EC50	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOEC	18.6 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	EC50	836 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	NOEC	400 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC50	3.1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	NOEC	1 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus (reported as Scenedesmus subspicatus)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
N,N-ジエチル-p-トルイジン	EC50	23.69 mg/l	72 h	Raphidocelis subcapitata (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸メチル	EC50	170 mg/l	96 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸メチル	NOEC	100 mg/l	96 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸	NOEC	8.2 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
メタクリル酸	EC50	45 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	EC0	> 3,000 mg/l	16 h	Pseudomonas fluorescens	other guideline:
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	EC10	70 mg/l	30 min	指定されていません	指定されていません
メタクリル酸メチル	EC20	> 150 - 200 mg/l	30 min	activated sludge, domestic	ISO 8192 (Test for Inhibition of Oxygen Consumption by Activated Sludge)
メタクリル酸	EC10	100 mg/l	17 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas)

ヘンケルジャパン株式会社

					Zellvermehrungshemm- (Test)
--	--	--	--	--	--------------------------------

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	85 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	readily biodegradable	aerobic	92 - 100 %	14 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	容易に生分解されていません。	aerobic	3 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
N, N-ジエチル-p-トルイジン	容易に生分解されていません。	指定されていません	1 %	28 day	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
メタクリル酸メチル	readily biodegradable	aerobic	94 %	14 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))
N, N-ジメチル-o-トルイジン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	14 d	other guideline:
メタクリル酸	readily biodegradable	aerobic	86 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)
メタクリル酸	inherently biodegradable	aerobic	100 %	14 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
2-(2-ヒドロキシエトキシ)エチルメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	92 - 100 %	14 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	9.1			計算	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

12.4. 土壌中の移動性

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	LogPow	温度	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	2.3		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	0.42	25 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロパーオキシド)	1.6	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
N, N-ジエチル-p-トルイジン	3.7		QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
メタクリル酸メチル	1.38	20 ° C	other guideline:
メタクリル酸	0.93	22 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12. 5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12. 6. 他の有害影響

データなし

1 3 . 廃棄上の注意

推奨廃棄方法:

国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法:

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

1 4 . 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

ヘンケルジャパン株式会社

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物

メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロ
パーオキシド)

名称等を表示すべき有害物

メタクリル酸メチル
メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロ
パーオキシド)

特定化学物質第1類物質

該当なし

特定化学物質第2類物質

該当なし

特定化学物質第3類物質

該当なし

特定化学物質特別管理物質

該当なし

第1種有機溶剤等

該当なし

第2種有機溶剤等

該当なし

第3種有機溶剤等

該当なし

変異原性が認められた既存化学物質

キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロ
パーオキシド)

変異原性が認められた届出物質

該当なし

がん原性物質 (ISHL 第 57-1、 57-2
および 57-3条、施行規則条項 第
577-2-3条)

該当なし

皮膚等障害化学物質等

メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル
キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェニルエチルヒドロ
パーオキシド)

消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類 (非水溶性)

毒物及び劇物取締法：

該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)：

(含有率表示は代表値)

(含有率単位が%0 の場合 %0=1/10%)

第二種指定化学物質

キュメンヒドロパーオキシド (1-メチル-1-フェ
ニルエチルヒドロパーオキシド)

管理番号： 440

16. その他の情報

発行日：

18. 04. 2025

ヘンケルジャパン株式会社

注意:

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。